SAFIYA NOBLE

Expert in Algorithmic Discrimination and Best-Selling Author

LONDON SPEAKER BUREAU

Topics

- Artificial Intelligence
- Author
- Diversity
- Technology
- Women

Safiya Umoja Noble博士は、カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）の情報学部の准教授であり、UCLA Center for Critical InternetInquiryの共同ディレクターを務めています。彼女はまた、アフリカ系アメリカ人研究とジェンダー研究の任命も行っています。彼女は、オックスフォード大学のオックスフォードインターネットインスティテュートに新しく任命されたリサーチアソシエイトです。

最近、Safiya Nobleは、南カリフォルニア大学のアネンバーグコミュニケーション大学院の客員教員でした。彼女は、イリノイ大学アーバナシャンペーン校のメディアシネマ研究部門および通信研究所の助教授として学業を始めました。

Safiyaは、商業検索エンジンにおける人種差別主義者および人種差別主義者のアルゴリズムバイアスに関するベストセラーの本の著者であり、「Algorithms of Oppression：How Search Engines Reinforce Racism」（NYU Press）というタイトルで、ロサンゼルスを含むジャーナルや定期刊行物で広くレビューされています。New York Public Library 2018 Best Books for Adults、non-fiction、に掲載され、Bustle誌によって、色のある人に説明を求める代わりに、人種差別に関する10冊の本の1つとして認められた本のレビュー。

SafiyaNobleは、HellmanFellowshipとUCLAEarlyCareerAwardを受賞しています。彼女の学術研究は、インターネット上のデジタルメディアプラットフォームの設計とそれらが社会に与える影響に焦点を当てています。彼女の作品は社会学的かつ学際的であり、デジタルメディアが人種、性別、文化、テクノロジーの問題に影響を与え、交差する方法を示しています。彼女は、The Guardian、BBC、CNN International、USA Today、Wired、Time、Full Frontal with Samantha Bee、The New York Times、Virginiaなどの国内外の報道機関によるアルゴリズムによる差別とテクノロジーバイアスの問題に関する専門知識で定期的に引用されています。公共ラジオ、およびサイエンスフリクションやサイエンスフライデーなど、地元のニュースやポッドキャストのホスト。最近、彼女は、GovernmentTechnology誌の「2019年のトップ25の実行者、夢想家、および推進者」に選ばれました。

Safiya Noble博士は、編集された2つのボリュームの共同編集者です：IntersectionInternet、Race、Sex、Culture and Class Online とEmotions、Technology、Designです。彼女は現在、Journal of Critical Library and Information Studiesの副編集長を務めており、Journal of Feminist MediaStudiesのCommentary、Criticismセクションの共同編集者でもあります。彼女は、タブー：文化と教育のジャーナルを含むいくつかの学術雑誌と諮問委員会のメンバーです。彼女は博士号を取得しています。イリノイ大学アーバナシャンペーン校で図書館情報学の修士号を取得し、カリフォルニア州立大学フレズノ校で社会学の学士号を取得し、最近2018年にDistinguished AlumniAwardを受賞しました。